

花と史跡めぐりウォーキング 2025 史跡/お花見/フェスタ レジメ

日時：2025・3・29（土） 江戸川台駅西口集合 9：00 主催：新川まちづくり協議会

1、中野久木古墳

円形（円墳）周溝墓 古墳時代末期（未発掘）、江戸川台西から西初石にかけて4基あったが開発で消滅。西側の「あさぎが丘」は縄文時代の大規模な集落跡だった。縄文時代、周辺の低地は海の入江で住みやすい環境。

2、南 不動堂

旧西善院の不動堂。明治6年4月、南小学校開校。明治8年の1～3年生の数56名（内女子9名）。一時期、学校区内の篤志家の寄付で運営された。現在の新川小學校の前身。江戸川八十八ヶ所36番札所（土佐・青龍寺）。

3、南 神明社

領主渡辺下総守が伊勢神宮の御霊を迎えて創建（年代不詳）と伝わる。祭神：天照大神、誉田別命、天児屋根命。参道右にかつての御神木の切株跡。ショケラ、幸神、千庚申などの庚申塔、疱瘡神塔、待道神、賀蘇山神社などの石物がある。本殿の造り、千木や鰹木に注目。

4、北小屋 香取神社

祭神は経津主命。創建は不詳ですが、由来の碑文には神護景雲3年（769）とあり事実とすれば市内で最も古い。参道を進むと隨身門、狛犬、拝殿（神楽殿）、本殿と続く。古来、武将に崇拜され源頼朝や高城胤吉が社殿を寄進した。頼朝にかかわる桐伝説や足止めの狛犬伝説がある。参道入り口には杉の大木の幹跡あり。千庚申塔の裏面は句碑でもある。他に多数の石神仏がある。

5、薬師原

かつては薬師堂があったが今はない。江戸川八十八ヶ所 37番札所（土佐・岩本寺） 他から移された馬頭観音塔、庚申塔など多くの石造物が祀られている。

6、円頓寺

本尊は地藏菩薩。創建は不詳、現在のお堂は平成5年に再建された。記念碑には天保年間の創建としているが、愛宕神社の寛文11年（1673）の庚申塔に別当円頓寺とあり、この時代に別当寺として存在していたことが分かる。

7、愛宕神社

祭神は火遇突智命 火伏、防災の神として知られる。中野久木村の鎮守。創建は不詳ながら江戸初期と伝わり、文政6年の遷宮とされます。境内入り口にある庚申塔も市内で古い方に属するものがある。「征清軍馬観世音」と刻まれた馬頭観音塔は日清戦争時、この地の農耕馬を軍の荷役馬として徴発した供養塔。

8、愛宕ふれあいの森 サクラの名所

9、GLP8 我が国最大級の流通倉庫群の一つ。イベント会場 食事、喫茶。